

松	江	市					
小	学	校	・	中	学	校	・
義	務	教	育	学	校	・	
高	等	学	校	施	設		
長	寿	命	化	計	画		

初版：令和 3 年 3 月

改定：令和 8 年 3 月

松江市教育委員会

はじめに	1
(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	2
① 背景	2
② 目的	3
③ 計画期間	3
④ 対象施設	4
(2) 学校施設の目指すべき姿	6
(3) 学校施設の実態	7
① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態	7
1) 学校施設の配置	7
2) 学校施設一覧	8
3) 人口と人口構成数の推移	10
4) 学校別の児童・生徒数の推移（高等学校を除く）	12
5) 高等学校の生徒数の推移	16
② 学校施設の保有状況と維持・更新コスト	17
③ 学校施設の建物情報	19
1) 構造躯体の健全性の評価	19
2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価	20
3) 建物情報の一覧	22
4) 計画策定した令和2年度から令和7年度までの実績と今後の見込み	24
(4) 学校施設整備の基本的な方針等	25
① 学校施設の規模・配置計画等の方針	25
② 学校施設整備の基本的な方針の転換	26
(5) 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等	30
① 改修等の整備水準	30
② 維持管理の項目・手法等	30
(6) 長寿命化改良の実施計画	31
① 長寿命化改良の優先順位付けの考え方	31
② 長寿命化改良を取り入れた整備コストの見通し・効果	32
(7) 長寿命化計画の継続的運用方針	33
① 情報基盤の整備と活用	33
② 推進体制等の整備	33
③ フォローアップ	34

はじめに

■学校施設長寿命化計画の改定について

松江市では、令和3年3月に「松江市小学校・中学校・義務教育学校学校施設長寿命化計画」を策定し、学校施設の安全性・機能性の確保と、計画的な維持管理・更新による財政負担の平準化を目指して取り組んできました。策定から5年が経過するにあたり、社会情勢や施設の老朽化状況、技術的知見の進展等を踏まえ、計画の見直しを行いました。

さらに、今回の計画見直しに併せ、令和5年3月に策定した「松江市立皆美が丘女子高等学校施設長寿命化計画」を統合し、松江市が設置するすべての学校を網羅した総合的な学校施設長寿命化計画としました。

また、本計画の改定にあたっては、松江市総合計画（MATSUE DREAMS 2030）に掲げる18の基本施策のうち、「16 安心・安全、社会資本整備【何があっても松江は大丈夫！】って思う」との整合を図るとともに、本計画に基づき学校施設の安全性向上や計画的な維持管理を進めることにより、国際的な課題であるSDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」を重視しつつ、ゴール4「質の高い教育をみんなに」の達成にも貢献するものであり、地域の未来を支える重要な社会資本として、持続可能な施設運営を推進していきます。

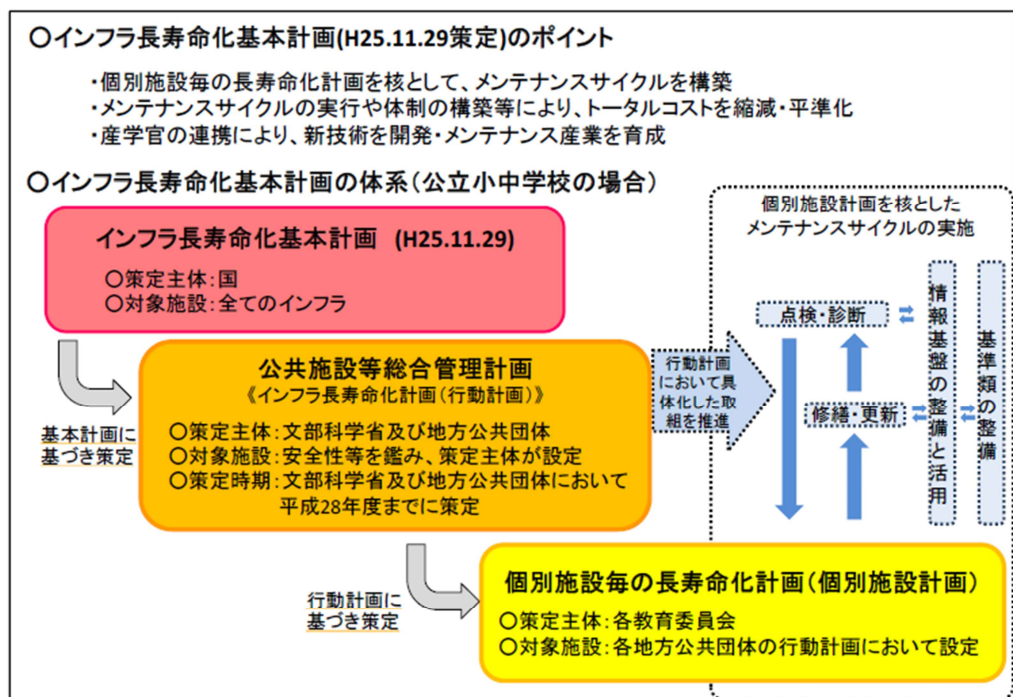


	策定（改定）年月	
初版	（小学校・中学校・義務教育学校） 令和3年3月	（皆美が丘女子高等学校） 令和5年3月
改定版	（小学校・中学校・義務教育学校・高等学校） 令和8年3月	

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景

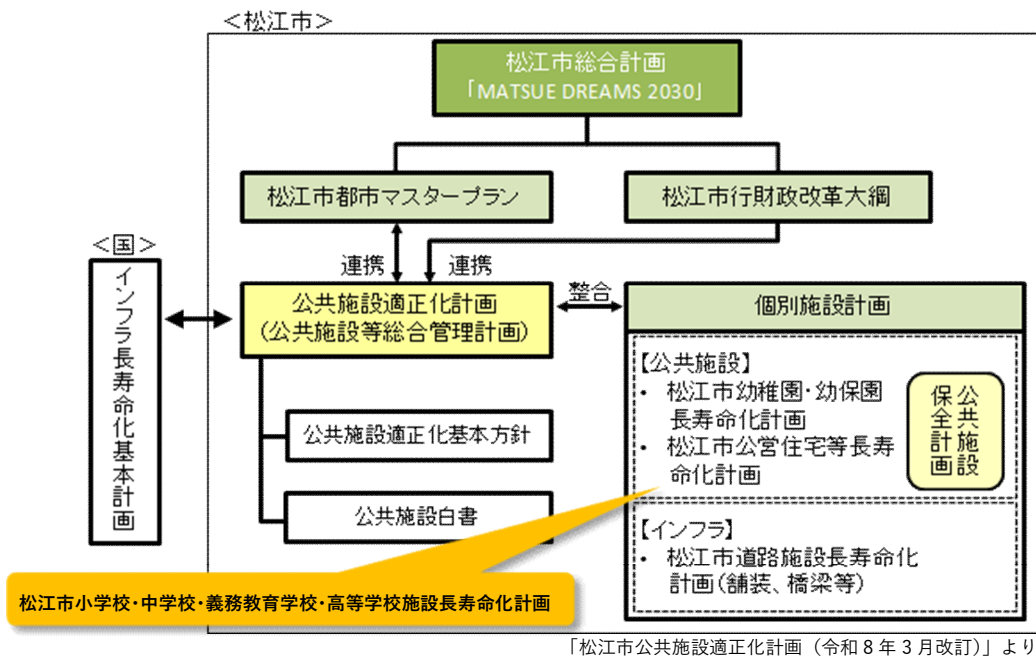
高度成長期以降に整備されたインフラストックの高齢化は、全国的な課題となっています。このため、国においては国民の安全・安心を確保し、中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化等を図るための方向性を示すものとして、平成 25（2013）年度に「インフラ長寿命化基本計画」を策定するとともに、その行動計画として、各自治体に対してすべての公共施設等を対象とした「公共施設等総合管理計画」及び同種のインフラを対象とした「個別施設計画」を策定するよう要請しました。



【図 1】 インフラ長寿命化基本計画の体系

松江市においては、これを受け「公共施設等総合管理計画」として平成 28（2016）年度に「松江市公共施設適正化計画（令和 8 年 3 月改訂）」を策定し、「公共サービスの向上」、「市民の安全の確保」、「財政の健全化」に取り組んでいます。

一方、松江市が設置する小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校施設（以下、本計画において「学校施設」という。）においても、昭和 40 年代後半から 50 年代前半にかけて多くの学校施設が整備されており、その「個別施設計画」として、「松江市小学校・中学校・義務教育学校・高等学校施設長寿命化計画」を策定することとしました。



【図2】 松江市小学校・中学校・義務教育学校・高等学校施設長寿命化計画の位置付け

② 目的

本計画は、長期的な視点により学校施設整備のあり方を示すことで、施設の維持管理にかかる経費の縮減と平準化を図り、松江市の未来を担うこどもたちに将来にわたって良好な教育環境を持続的に確保することを目的とします。

③ 計画期間

本計画の対象期間は、令和3（2021）年度から令和42（2060）年度の40年間とします。5年ごとに施設の長寿命化改良の実施状況や老朽化の状況を検証し、計画を見直していきます。



④ 対象施設

本計画は、松江市が設置する以下にあげる学校施設を対象とします。

● 松江市立小学校

	学校名	所在地
1	母衣小学校	松江市北田町273番地
2	城北小学校	〃 東奥谷町229番地
3	内中原小学校	〃 内中原町225番地
4	中央小学校	〃 大正町398番地
5	雑賀小学校	〃 雑賀町586番地
6	津田小学校	〃 東津田町1166番地
7	古志原小学校	〃 古志原四丁目6番1号
8	川津小学校	〃 西川津町500番地
9	朝酌小学校	〃 朝酌町115番地
10	法吉小学校	〃 比津町532番地
11	竹矢小学校	〃 八幡町379番地1
12	乃木小学校	〃 浜乃木五丁目1番10号
13	忌部小学校	〃 東忌部町915番地1
14	大庭小学校	〃 大庭町1074番地
15	生馬小学校	〃 西生馬町8番地
16	持田小学校	〃 東持田町81番地
17	古江小学校	〃 古曾志町1759番地
18	本庄小学校	〃 邑生町76番地3
19	大野小学校	〃 上大野町1826番地
20	秋鹿小学校	〃 岡本町992番地1
21	恵曇小学校	〃 鹿島町手結201番地
22	佐太小学校	〃 鹿島町佐陀本郷1186番地
23	鹿島東小学校	〃 鹿島町北講武599番地
24	島根小学校	〃 島根町加賀1325番地1
25	美保関小学校	〃 美保関町下宇部尾555番地1
26	八雲小学校	〃 八雲町西岩坂947番地
27	宍道小学校	〃 宍道町宍道1276番地
28	来待小学校	〃 宍道町上来待125番地
29	(来待小学校大野原分校 ^{※1})	(〃 宍道町西来待1300番地)
30	出雲郷小学校	〃 東出雲町出雲郷926番地
31	揖屋小学校	〃 東出雲町揖屋2131の3番地
32	意東小学校	〃 東出雲町下意東371番地

※1 来待小学校大野原分校の学校施設は、島根県が所有しているため、本計画からは除外する。

【表1】 松江市立小学校一覧

● 松江市立中学校

	学校名	所在地
1	第1中学校	松江市外中原町46番地
2	第2中学校	〃 西川津町3402番地1
3	第3中学校	〃 東朝日町14番地
4	第4中学校	〃 西津田十丁目20番1号
5	湖南中学校	〃 浜乃木八丁目2番60号
6	湖東中学校	〃 山代町680番地
7	本庄中学校	〃 野原町424番地2
8	湖北中学校	〃 打出町245番地1
9	鹿島中学校	〃 鹿島町名分673番地
10	島根中学校	〃 島根町加賀1426番地
11	美保関中学校	〃 美保関町下宇部尾554番地
12	八雲中学校	〃 八雲町西岩坂931番地
13	宍道中学校	〃 宍道町宍道351番地
14	(宍道中学校大野原分校 ^{※1})	(〃 宍道町西来待1300番地)
15	東出雲中学校	〃 東出雲町揖屋1251番地1

※1 宍道中学校大野原分校の学校施設は、島根県が所有しているため、本計画からは除外する。

【表2】 松江市立中学校一覧

● 松江市立義務教育学校

	学校名	所在地
1	八束学園	松江市八束町波入1975番地
2	玉湯学園	〃 玉湯町湯町717番地

【表3】 松江市立義務教育学校一覧

● 松江市立高等学校

	学校名	所在地
1	皆美が丘女子高等学校	松江市西尾町540番地1

【表4】 松江市立高等学校一覧

● 本計画の対象となる学校数

学校区分	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	合計
学校数[校]	31	14	2	1	48

【表5】 松江市立高等学校一覧

(2) 学校施設の目指すべき姿

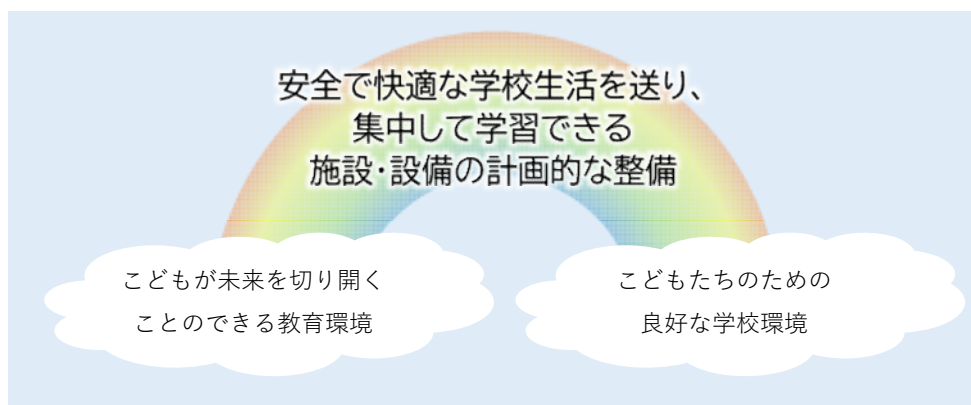
松江市では【松江市教育大綱（令和4年度策定）】のなかで、目指す教育の方向性として「DREAMS from MATSUE～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～」を掲げています。そして、その実現のために「生きる力を持ったこどもたちの育成」「一人一人の育ちと学びを支える体制づくり」「こどもたちの教育環境の充実」「生涯にわたり心豊かに学び合う環境づくり」の四つの教育方針のもと、夢を実現し、未来を切り拓く力を持ったこどもたちの育成にあたっています。



【図4】 「松江市教育大綱」による教育の方向性と方針

この方針に基づき、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送り、集中して学習できるよう計画的に施設・設備の整備を進めます。

また、小中学校については、こどもたちが集団の中で切磋琢磨できる環境整備を行うため、適正規模・適正配置を進めるとともに、小中一貫教育をより効果的に進めるため、義務教育学校への移行についても検討します。高等学校については、皆美が丘女子高等学校を女子校として維持しつつ、学校の魅力化を更に高めていくために必要な環境整備を行います。



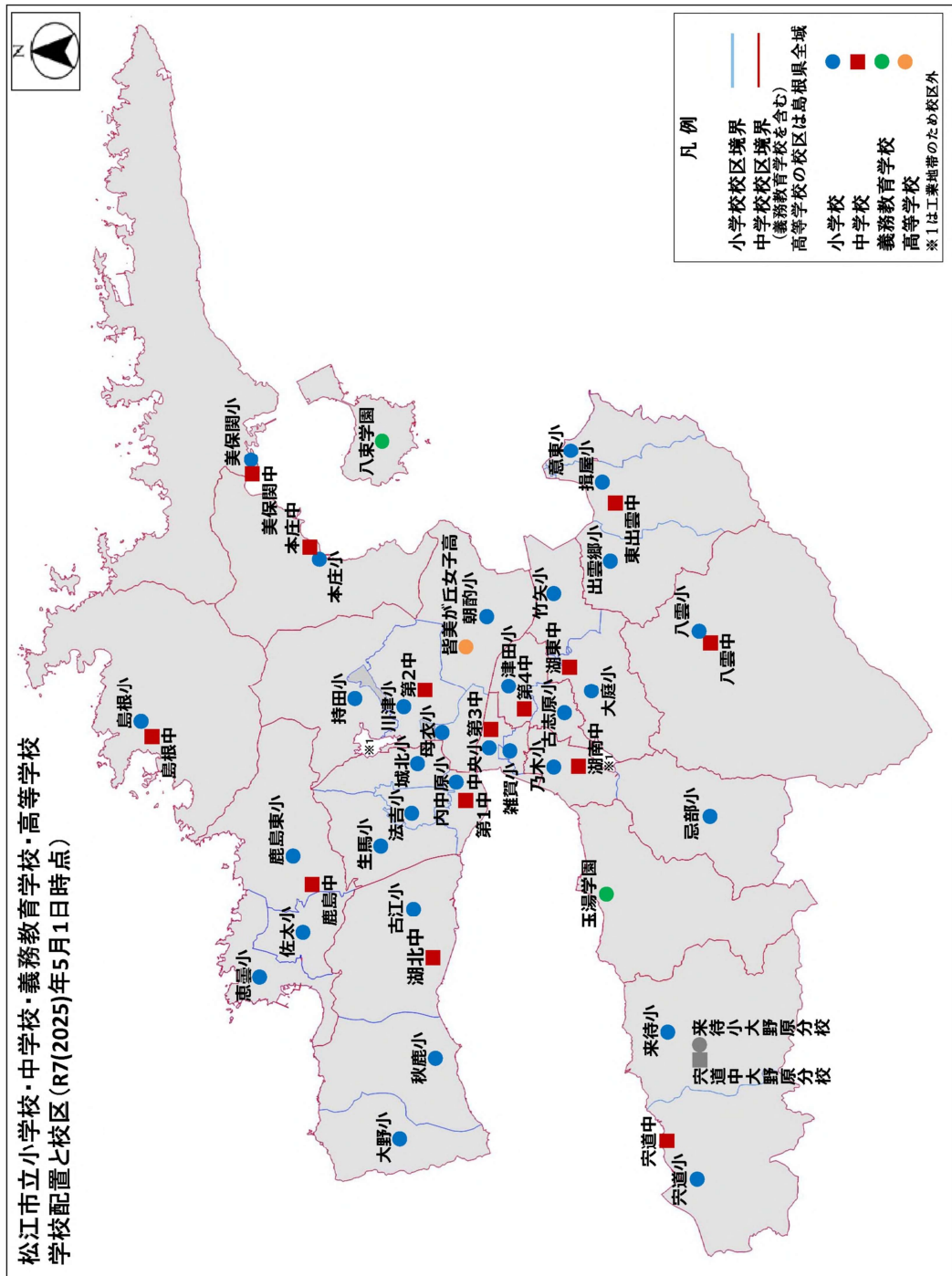
【図5】 学校施設の目指すべき姿

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

1) 学校施設の配置

市内の学校施設の配置は【図6】のとおりであり、小学校32校、中学校15校、義務教育学校2校、高等学校1校が配置されています。



2) 学校施設一覧

ここ近年は児童・生徒の全体数は減少していますが、保有教室は教育内容の多様化に対応し、きめ細やかな指導を行うために有効に活用されています。

● 松江市立小学校

学校名	保有教室													合計
	普通教室	特別教室												
		理科	生活	音楽	図工	家庭	外国語	視聴覚	P C	図書室	特別活動	教育相談	計	
1 母衣小	20	1	0	1	1	1	0	0	1	1	5	2	13	33
2 城北小	21	1	1	2	1	1	1	0	0	1	3	2	13	34
3 内中原小	26	1	0	1	1	1	0	0	0	1	5	4	14	40
4 中央小	13	1	0	1	1	1	0	1	0	1	6	0	12	25
5 雑賀小	14	1	0	1	1	1	0	0	0	1	2	2	9	23
6 津田小	31	1	0	2	1	2	0	0	0	1	3	4	14	45
7 古志原小	24	2	1	2	1	2	1	0	0	1	6	1	17	41
8 川津小	23	1	2	2	1	1	0	1	0	2	5	3	18	41
9 朝酌小	8	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	0	6	14
10 法吉小	17	1	1	2	0	1	0	0	1	1	4	2	13	30
11 竹矢小	15	1	0	2	1	1	0	0	1	1	3	2	12	27
12 乃木小	32	2	0	3	1	1	1	0	1	2	1	2	14	46
13 忌部小	8	1	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	7	15
14 大庭小	20	2	2	2	1	2	0	0	0	1	8	1	19	39
15 生馬小	7	1	0	1	1	2	0	0	1	2	1	1	10	17
16 持田小	14	1	0	1	1	1	0	1	1	1	3	1	11	25
17 古江小	11	1	0	1	1	1	0	0	0	1	3	1	9	20
18 本庄小	7	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	7	14
19 大野小	3	1	0	1	1	1	0	0	1	1	4	1	11	14
20 秋鹿小	8	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	7	15
21 恵曇小	7	1	0	1	1	2	0	0	1	1	1	1	9	16
22 佐太小	8	1	0	1	1	2	0	0	1	1	2	0	9	17
23 鹿島東小	8	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	8	16
24 島根小	9	1	0	1	1	1	0	0	0	1	1	0	6	15
25 美保関小	8	1	1	1	1	1	0	0	0	2	4	1	12	20
26 八雲小	16	1	0	1	1	2	0	0	1	1	3	1	11	27
27 宍道小	14	2	0	2	1	1	0	0	1	1	5	1	14	28
28 来待小	8	1	0	1	1	2	0	0	1	1	1	2	10	18
29 来待小大野原分校 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30 出雲郷小	21	1		1	1	1	0	0	0	1	0	2	7	28
31 揖屋小	22	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	2	10	32
32 意東小	11	1		1	1	1	0	0	1	1	0	1	7	18
合計	491	37	5	44	28	41	33	5	36	26	39	39	333	824

「令和7年度施設台帳」より

※1 来待小学校大野原分校の学校施設は、島根県が所有しているため、本計画からは除外する。

【表6】 小学校施設の保有教室及び活用状況

● 松江市立中学校

学校名		保有教室															合計
		普通教室	特別教室														
			理科	音楽	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	P C	図書室	特別活動	教育相談	進路指導資料	計		
1	第1中	30	3	2	2	2	2	0	0	1	1	4	2	0	19	49	
2	第2中	25	3	2	2	2	3	0	1	1	1	10	1	0	26	51	
3	第3中	14	2	1	1	1	1	0	0	1	1	2	3	0	13	27	
4	第4中	22	3	2	2	2	3	0	1	1	1	3	2	0	20	42	
5	湖南中	18	3	2	2	2	2	0	0	1	1	5	2	0	20	38	
6	湖東中	14	3	2	2	2	3	0	0	1	1	3	3	0	20	34	
7	本庄中	6	1	1	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	7	13	
8	湖北中	8	2	1	1	2	2	0	1	0	1	2	1	0	13	21	
9	鹿島中	7	2	1	1	1	3	0	0	1	1	5	7	0	22	29	
10	島根中	6	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	2	0	12	18	
11	美保関中	6	2	1	1	2	3	0	1	1	1	4	5	0	21	27	
12	八雲中	8	1	1	1	1	2	0	1	1	1	4	2	0	15	23	
13	宍道中	8	2	1	1	1	2	0	0	1	1	8	7	0	24	32	
14	宍道中大野原分校 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
15	東出雲中	18	2	1	1	1	2	0	1	1	1	7	4	0	21	39	
合計		190	30	19	19	21	32	0	7	12	14	58	41	0	253	443	

「令和7年度施設台帳」より

※1 宍道中学校大野原分校の学校施設は、島根県が所有しているため、本計画からは除外する。

【表7】 中学校施設の保有教室及び活用状況

● 松江市立義務教育学校

学校名		保有教室															合計	
		普通教室	特別教室															
			理科	生活	音楽	図画工作	美術	技術	家庭	外国語	視聴覚	P C	図書室	特別活動	教育相談	進路指導資料		計
1	八束学園(前期課程)	8	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	2	1	0	9	17
2	八束学園(前期課程)	7	1	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	2	2	0	10	17
八束学園計		15	2	0	2	1	1	1	2	1	0	0	2	4	3	0	19	34
3	玉湯学園(前期課程)	23	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	8	31
4	玉湯学園(後期課程)	12	2	0	1	0	1	2	2	0	1	0	1	0	2	0	12	24
玉湯学園計		35	3	0	2	1	1	2	3	0	1	1	2	0	4	0	20	55
合計		50	5	0	4	2	2	3	5	1	1	1	4	4	7	0	39	89

「令和7年度施設台帳」より

※ 特別教室は前期・後期の各課程で併用している。

【表8】 義務教育学校施設の保有教室及び活用状況

● 松江市立高等学校

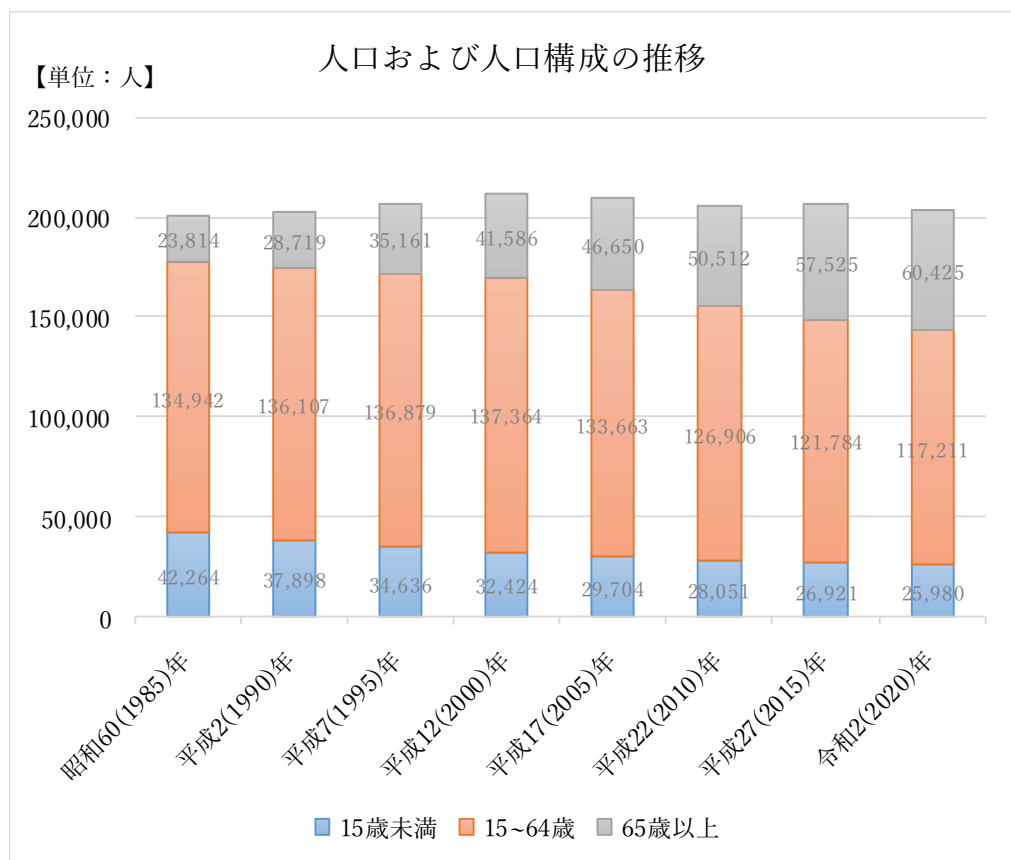
学校名	保有教室														合計
	普通教室	特別教室													
		理科	社会	外国語	芸術	家庭	情報	視聴覚	メディア・図書	総合学習	多目的・特別活動	進路指導資料	計		
1 皆美が丘女子高	12	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	15	27
合計	12	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	15	27

「令和7年度施設台帳」より

【表9】 高等学校施設の保有教室及び活用状況

3) 人口と人口構成数の推移

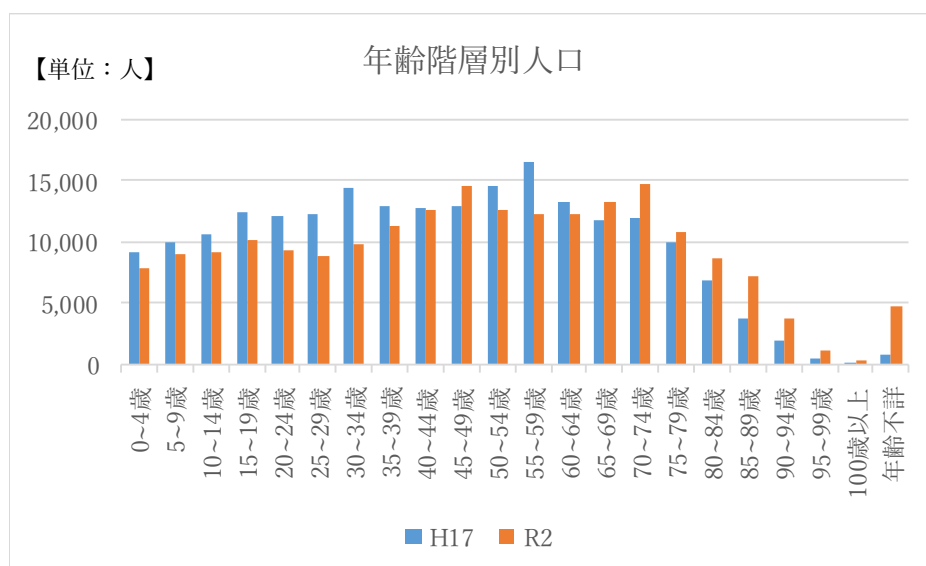
松江市の人口は、平成17(2005)年の国勢調査において減少に転じています。また、人口構成については、現在に近づくにつれて少子高齢化がより鮮明になっており、15歳未満の人口は、市内の多くの学校施設が整備された昭和60年の時点の約6割に減少しています。



「国勢調査」より

※ 「年齢不詳」は集計に含んでいない。

【図7】 松江市の人口及び人口構成の推移



「国勢調査」より

【図8】 松江市の年齢階層別人口

平成27（2015）年から令和7（2025）年までの10年間に於ける各公民館区の人口の推移としては、玉湯地域や東出雲地域、マンションの建設や宅地開発のあった一部の地域で増加がみられるものの、2/3の公民館区で減少しています。特に半島地域での減少が著しくなっており、この傾向は将来も続くものと思われる。

また、人口が減少している地域においても世帯数は増加しており、世帯分離が進んでいることがうかがえます。

公民館名	平成27(2015)年4月末		令和2年(2020)年4月末				令和7(2025)年4月末			
	人口(人)	世帯数(世帯)	人口(人)		世帯数(世帯)		人口(人)		世帯数(世帯)	
			平成27年からの増減	平成27年からの増減	平成27年からの増減	平成27年からの増減				
城東公民館	7,941	3,947	7,908	▲0.4%	4,074	▲3.2%	7,554	▲4.9%	4,107	▲4.1%
城北公民館	7,598	3,418	7,197	▲5.3%	3,357	▲1.8%	6,752	▲11.1%	3,286	▲3.9%
城西公民館	9,149	4,031	9,369	▲2.4%	4,254	▲5.5%	8,899	▲2.7%	4,220	▲4.7%
白湯公民館	3,196	1,674	2,916	▲8.8%	1,593	▲4.8%	2,895	▲9.4%	1,701	▲1.6%
朝日公民館	4,377	2,153	4,528	▲3.4%	2,340	▲9.7%	4,526	▲3.4%	2,458	▲14.2%
雑賀公民館	5,311	2,688	5,043	▲5.0%	2,655	▲1.2%	4,663	▲12.2%	2,533	▲5.8%
津田公民館	13,616	5,959	13,560	▲0.4%	6,257	▲5.0%	13,461	▲1.1%	6,573	▲10.3%
古志原公民館	12,817	6,032	12,922	▲0.8%	6,262	▲3.8%	12,707	▲0.9%	6,377	▲5.7%
川津公民館	16,064	7,524	16,152	▲0.5%	8,087	▲7.5%	15,777	▲1.8%	8,272	▲3.9%
朝酌公民館	2,015	747	1,960	▲2.7%	803	▲7.5%	1,911	▲5.2%	845	▲13.1%
法吉公民館	12,628	5,195	12,557	▲0.6%	5,423	▲4.4%	12,221	▲3.2%	5,557	▲7.0%
竹矢公民館	6,278	2,719	5,934	▲5.5%	2,739	▲0.7%	5,805	▲7.5%	2,824	▲3.9%
乃木公民館	16,140	7,040	16,071	▲0.4%	7,322	▲4.0%	15,659	▲3.0%	7,531	▲7.0%
忌部公民館	2,184	783	2,113	▲3.3%	836	▲6.8%	1,992	▲8.8%	825	▲5.4%
大庭公民館	9,217	4,029	8,932	▲3.1%	4,123	▲2.3%	8,250	▲10.5%	4,030	▲0.0%
生馬公民館	3,853	1,758	3,701	▲3.9%	1,805	▲2.7%	3,341	▲13.3%	1,564	▲11.0%
持田公民館	3,956	1,684	4,074	▲3.0%	1,816	▲7.8%	4,281	▲8.2%	1,985	▲17.9%
古江公民館	4,750	1,934	4,443	▲6.5%	1,884	▲2.6%	4,174	▲12.1%	1,991	▲2.9%
本庄公民館	2,576	1,066	2,362	▲8.3%	1,061	▲0.5%	2,078	▲19.3%	977	▲8.3%
大野公民館	1,383	534	1,234	▲10.8%	528	▲1.1%	1,017	▲26.5%	480	▲10.1%
秋鹿公民館	1,989	731	1,831	▲7.9%	754	▲3.1%	1,592	▲20.0%	723	▲1.1%
鹿島公民館	6,906	2,605	6,282	▲9.0%	2,638	▲1.3%	5,595	▲19.0%	2,595	▲0.4%
島根公民館	3,618	1,406	3,237	▲10.5%	1,381	▲1.8%	2,824	▲21.9%	1,298	▲7.7%
美保関公民館	5,459	2,136	4,900	▲10.2%	2,138	▲0.1%	4,213	▲22.8%	2,042	▲4.4%
八雲公民館	6,916	2,520	6,755	▲2.3%	2,637	▲4.6%	6,555	▲5.2%	2,730	▲3.3%
玉湯公民館	6,610	2,654	6,933	▲4.9%	2,875	▲8.3%	7,391	▲11.8%	3,184	▲20.0%
宍道公民館	8,978	3,023	8,552	▲4.7%	3,233	▲6.9%	7,968	▲11.2%	3,280	▲5.5%
八束公民館	4,025	1,658	3,897	▲3.2%	1,759	▲6.1%	3,637	▲9.6%	1,724	▲4.0%
東出雲公民館	15,513	5,543	15,791	▲1.8%	6,077	▲8.6%	15,544	▲0.2%	6,446	▲18.3%

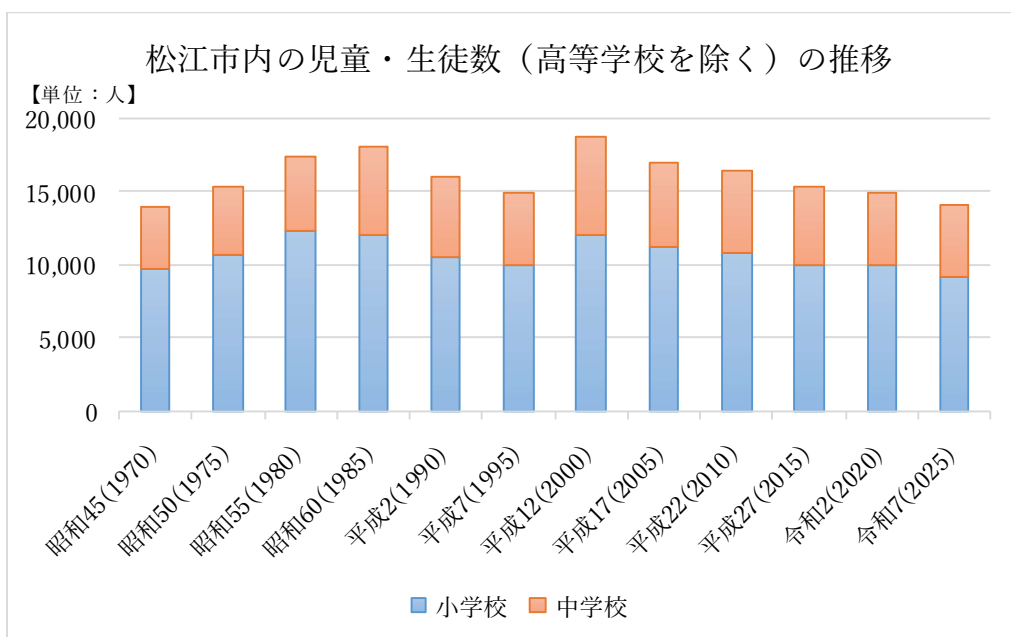
「松江市統計情報データベース」より

【表10】 各公民館区の人口動態

4) 学校別の児童・生徒数の推移（高等学校を除く）

高等学校を除く学校別の児童・生徒数は、松江市全体では減少の傾向が続いていますが、地域間での格差が大きくなっています。一部の学校で増加傾向が見受けられるものの、特に半島部の学校においては、この20年間で半減しています。

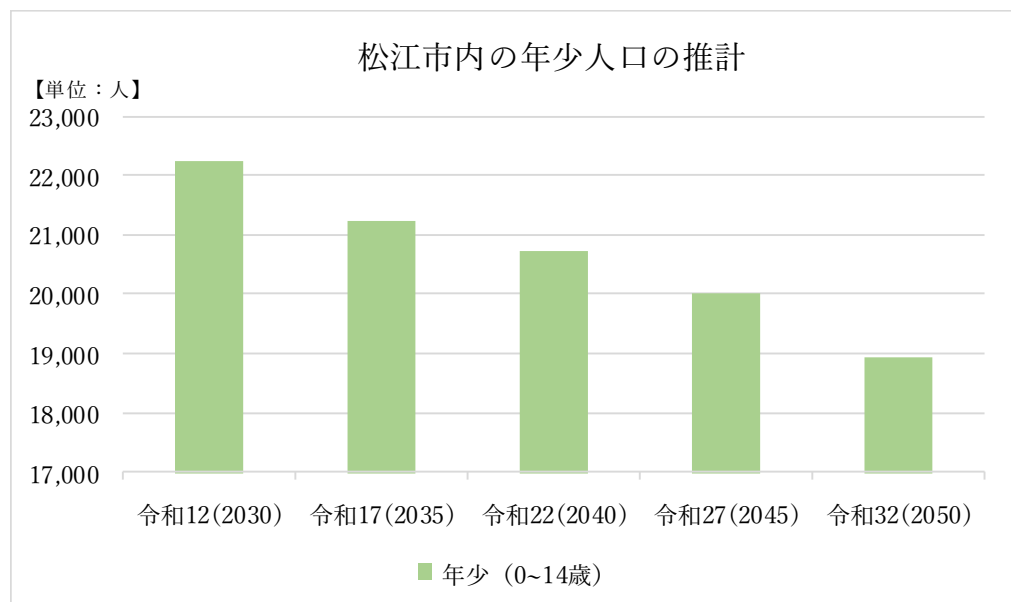
なお、今後短期的には児童・生徒数の増加が見込まれる学校であっても、長期的には漸減していくことが予想され、松江市全体の児童・生徒数も減少傾向は変わらないと思われま



「学校基本調査（R7(2025)年5月1日時点）」より

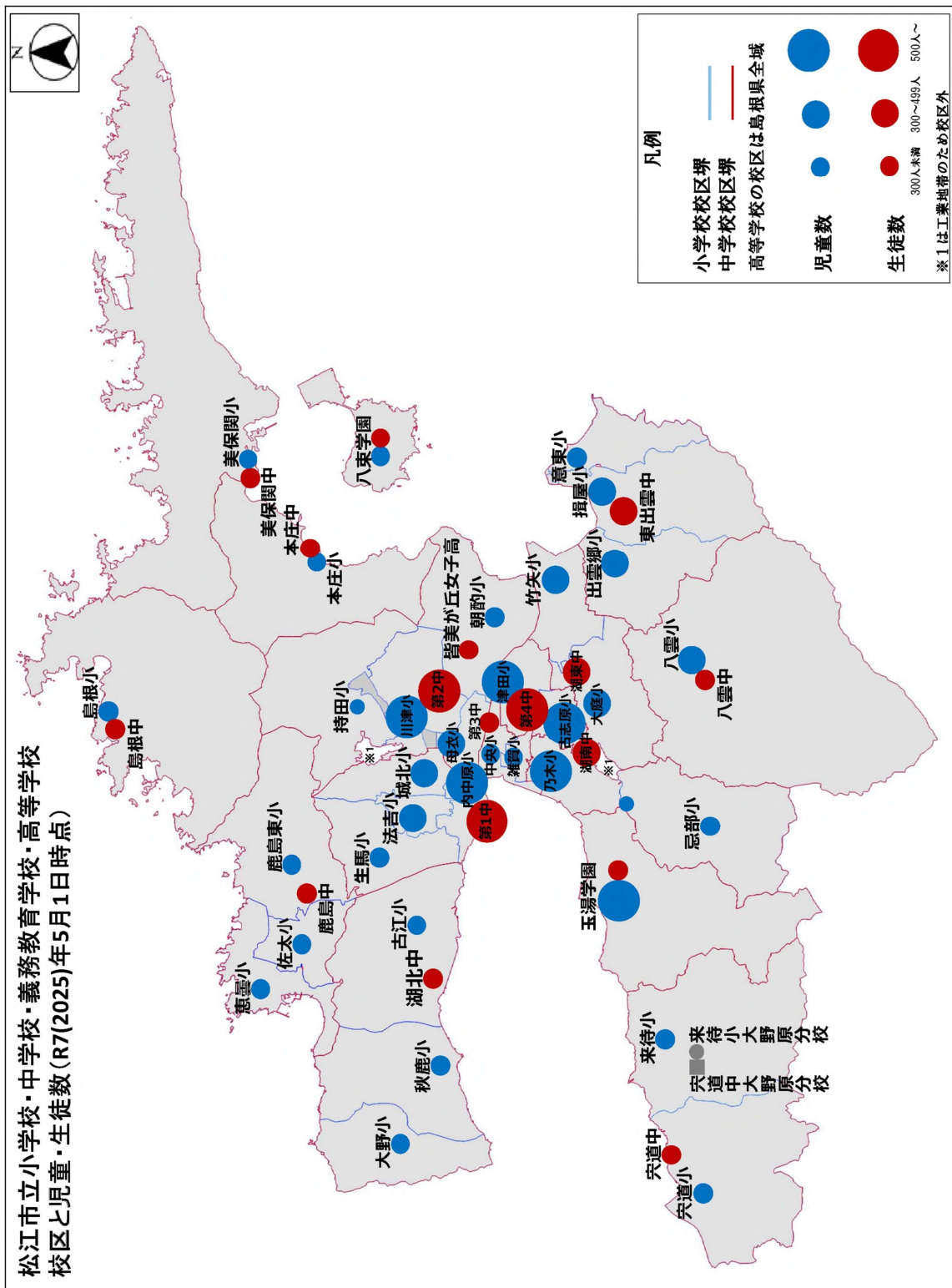
- ※ ○平成7(1995)年以前のデータには、合併前の旧町村のデータは含まない。
- 合併した学校の児童数は、合併後の学校に集計している。

【図9】 松江市内の児童・生徒数（高等学校を除く）の推移と将来推計



「日本の地域別将来推計人口（R5(2023)年12月1日時点）」より

【図10】 松江市将来人口推計



〔学校基本調査 (R7(2025)年5月1日時点)〕より

【図11】各学校施設の校区と児童・生徒数 (令和7 (2025) 年5月1日現在)

松江市立小・義務教育学校児童数の推移

【単位：人】

	母衣	城北	内中原	中央	雑貫	津田	古志原	川津	朝酌	法吉	竹矢	乃木	忌部	大庭	生馬	持田	古江	本庄	大野	秋鹿	恵曇	佐太	鹿島東	島根	美保関	八雲	宍道	来待	大分	出雲	揖屋	意真	(前八期 東課程)	(前五期 湯課程)	合計		
昭和45 (1970)	794	715	873	1276	1037	1029		392	186	225	246	821	151	452	193	200	285	339	200	260																	9,674
昭和50 (1975)	809	1164	1067	1122	935	1273		521	139	城北小		393	1038	97	656	215	174	327	183	262																	10,648
昭和55 (1980)	723	1320	1140	1018	727	1126	1155	746	185		625	1000	112	972	266	203	300	288	196	247																12,349	
昭和60 (1985)	636	812	931	797	570	1093	1127	821	158	496	707	1134	157	1024	289	245	348	246	192	205															11,988		
平成2 (1990)	487	764	802	506	412	892	975	735	174	497	595	1183	188	901	107	277	385	253	163	198																10,494	
平成7 (1995)	462	840	765	436	370	834	911	723	173	420	487	1155	181	808	108	318	461	190	141	158																9,961	
平成12 (2000)	473	675	597	360	350	777	819	960	141	357	404	1068	164	688	212	328	393	155	95	129	188	103	217	240	357	463	318	207		230	381	151	256	348	12,000		
平成17 (2005)	452	612	550	387	298	798	705	880	89	479	387	1038	127	650	165	271	245	150	75	90	162	81	123	170	310	412	367	177		338	415	197	227	285	11,200		
平成22 (2010)	492	563	638	389	246	781	683	672	85	643	350	992	97	548	134	263	243	121	70	88	114	98	128	156	236	412	352	133		426	433	232	194	291	10,818		
平成27 (2015)	462	547	738	355	241	730	614	571	74	569	318	1035	108	480	112	265	243	93	56	67	84	98	78	136	179	372	302	135		419	342	190	178	350	10,013		
令和2 (2020)	510	546	686	334	202	755	636	680	108	466	302	952	131	519	110	254	251	85	39	77	75	94	100	129	193	374	268	118		450	317	204	166	448	9,965		
令和7 (2025)	417	479	628	272	186	733	613	576	100	399	309	841	108	466	129	309	226	62	25	55	52	84	92	103	130	395	267	88		462	343	192	147	566	9,141		

※ ○平成7(1995)年以前のデータには、合併前の旧町村のデータは含まない。

○合併した学校の生徒数は、合併後の学校に集計している。

「学校基本調査 (R7(2025)年5月1日時点)」より

【表 11】 松江市立小・義務教育学校生徒数の推移

松江市立中・義務教育学校生徒数の推移

【単位：人】

	第1	第2	第3	第4	湖南	湖東	本庄	湖北	鹿島	島根	美保関	八雲	中央	大野原 分校	東出雲	(後八 期末学 程園)	(後五 湯学 程園)	合計
昭和45 (1970)	856	682	910	963	275		189	441										4316
昭和50 (1975)	994	783	849	1028	482		142	361										4639
昭和55 (1980)	1155	706	473	944	1268		132	344										5022
昭和60 (1985)	1325	890	754	1244	1349		126	382										6070
平成2 (1990)	1144	841	522	1183	1350		128	350										5518
平成7 (1995)	1003	816	402	790	725	706	126	381										4949
平成12 (2000)	991	947	330	723	689	616	90	360	313	146	223	279	316		421	165	173	6782
平成17 (2005)	837	837	309	660	589	506	75	286	234	103	163	224	258		414	136	175	5806
平成22 (2010)	877	795	328	652	574	481	75	209	173	67	146	186	274		444	101	145	5527
平成27 (2015)	937	654	275	659	521	427	53	204	155	67	103	204	243		529	89	138	5258
令和2 (2020)	869	661	273	610	545	381	45	177	123	67	95	173	208		465	102	183	4977
令和7 (2025)	814	744	207	640	490	388	35	175	115	61	85	161	183		492	79	232	4901

※ ○平成7(1995)年以前のデータには、合併前の旧町村のデータは含まない。

○合併した学校の生徒数は、合併後の学校に集計している。

「学校基本調査 (R7(2025)年5月1日時点)」より

【表 12】 松江市立中・義務教育学校生徒数の推移

5) 高等学校の生徒数の推移

高等学校の生徒数は、入学定員を充足しない状況が続いており、近年ではその傾向が顕著となっています。

なお、令和8年度の入学生からは入学定員を1学年120人から90人に見直します。

【単位：人】

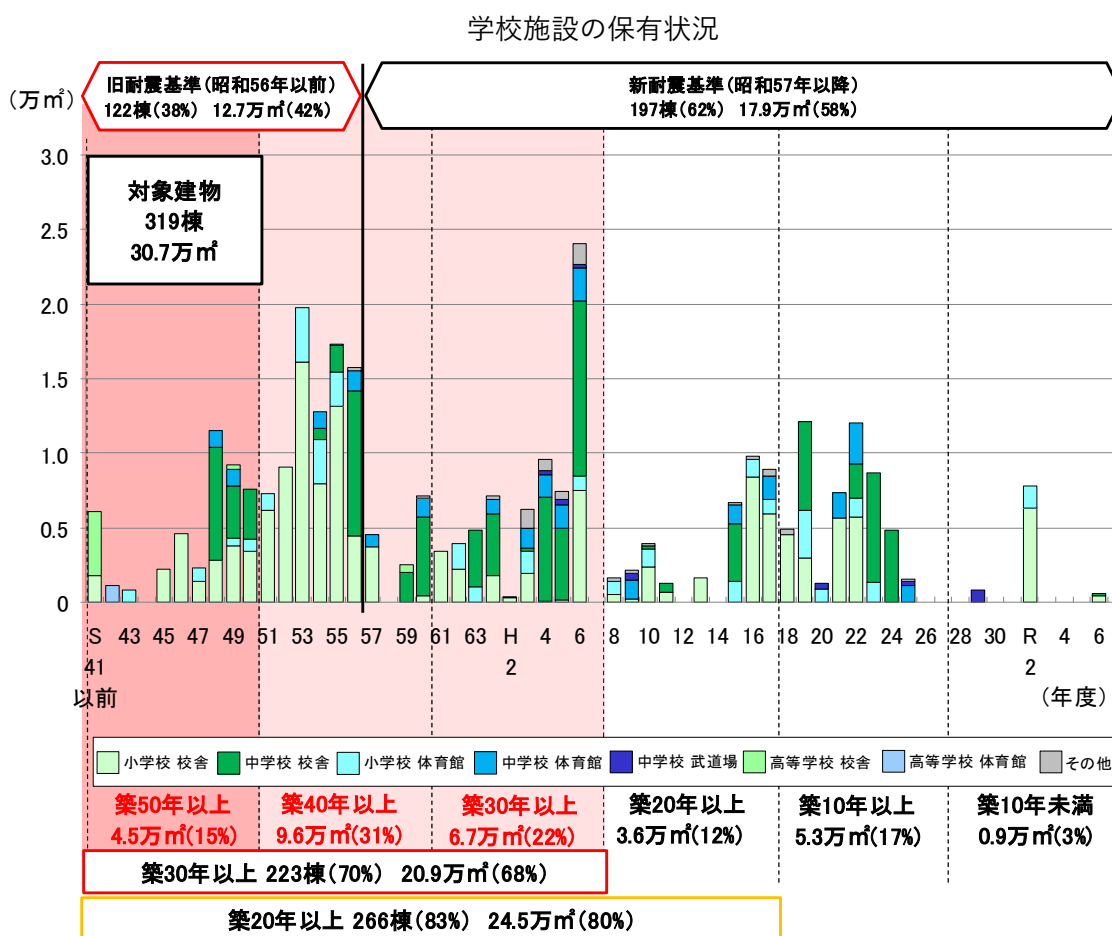
年 度	定員数	生徒数			
		1 年 生	2 年 生	3 年 生	合 計
平成 26 年度	360	108	118	116	342
平成 27 年度	360	120	103	113	336
平成 28 年度	360	120	118	101	339
平成 29 年度	360	109	120	115	344
平成 30 年度	360	102	102	117	321
令和元年度	360	108	96	99	303
令和 2 年度	360	86	104	91	281
令和 3 年度	360	102	85	100	287
令和 4 年度	360	101	100	84	285
令和 5 年度	360	105	95	95	295
令和 6 年度	360	84	98	89	271
令和 7 年度	360	102	81	94	277

【表 13】 松江市立皆美が丘女子高等学校生徒数の推移

② 学校施設の保有状況と維持・更新コスト

本計画の対象となる学校施設の対象建物は319棟、延べ約30.7万㎡（延べ床面積）であり、そのうち約4割が旧耐震基準である昭和56年以前に建築されています。

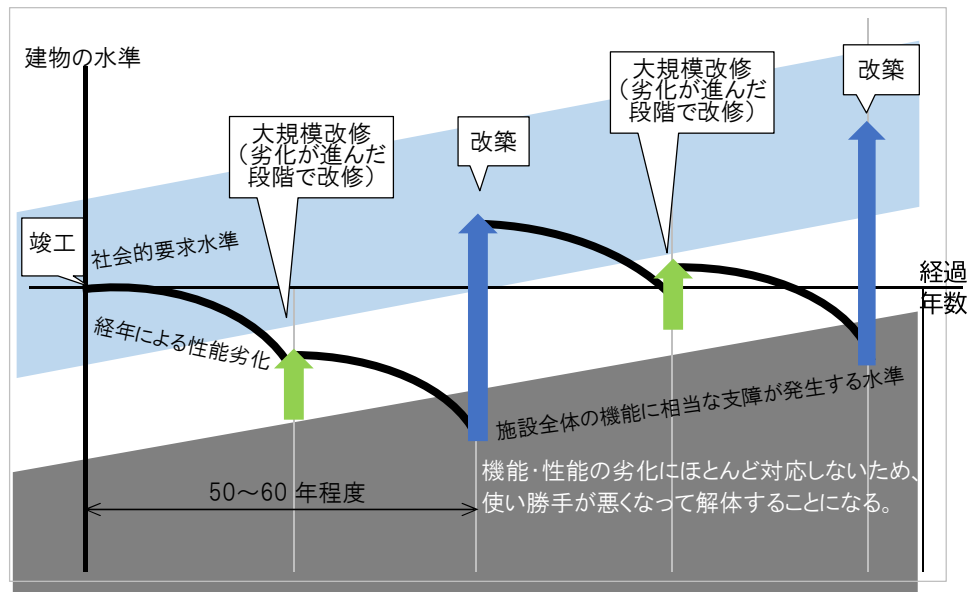
また、全体の約7割の建物が築30年を超えており、さらに10年後には全体の約8割の建物が築30年を超えるなど、施設の老朽化が進行しています。



【図 12】 学校施設の保有状況

用語の説明

- 改築・・・老朽化による劣化が進み、建物全体を新しく建て替えること。
- 改修・・・建物の劣化部分を部分的に修繕・更新すること。（外壁補修、屋根の防水、設備機器の更新など）
- 予防改修・・・築20年以上40年未満の建物を対象とし、劣化が深刻化する前に外壁補修や防水更新を行うこと。
- 長寿命化改修・・・築40年以上の建物を対象とし、構造体（柱・梁など）をそのまま活かしつつ、外壁・屋根・コンクリート・防水・設備更新・断熱化などの劣化抑制及び性能回復を行い、建物の寿命を延ばす改修のこと。
- 長寿命化改良・・・長寿命化改修と予防改修の建物の寿命を延ばすための改修の総称のこと。
- 大規模改修・・・老朽化による劣化に対し、外壁・天井・床などの補修、設備機器更新、教育環境改善などをまとめて行う大規模な改修のこと。

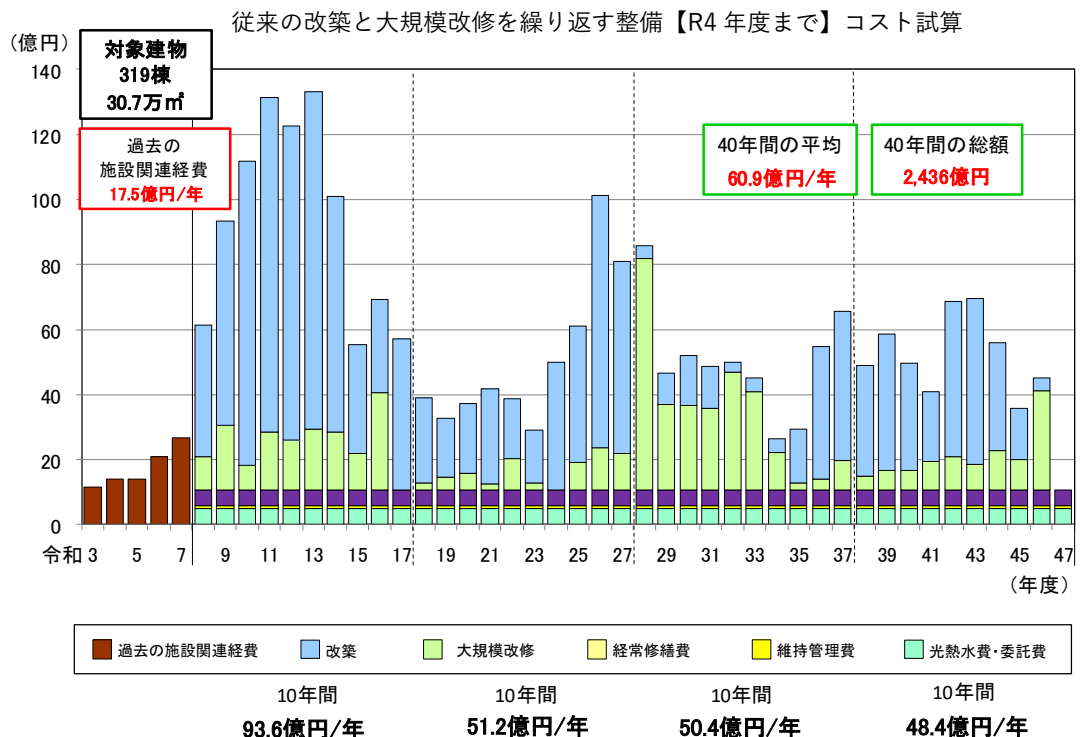


【図 13】 従来の改築と大規模改修を繰り返す整備【R4 年度まで】

劣化が進んだ段階で改修を繰り返し、おおむね 50 年～60 年で改築というこれまでの学校整備の考え方を今後も継続すれば、今後 40 年間のコストは 2,436 億円（60.9 億円／年）程度※が見込まれます。また、改築の時期が集中することも避けられません。

子どもたちに安定的に教育環境を提供するためには、さらに効率的な改修や施設のあり方、計画的な整備の検討が必要となっています。

※ 「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルソフト」による試算



【図 14】 従来の改築と大規模改修を繰り返す整備【R4 年度まで】コスト試算

③ 学校施設の建物情報

1) 構造躯体の健全性の評価

従来のように築 50 年～60 年程度で改築するのではなく、さらに長期間にわたって建物を使用するためには、構造躯体が健全でなければなりません。このため、対象となるすべての学校施設に対して以下の調査を実施しました。

- 「旧耐震構造基準（昭和 56(1981)年以前）」による建物か、「新耐震構造基準（昭和 57(1982)年以降）」による建物か
- 耐震診断は実施済みか
- （耐震補強が必要と判断された場合に）耐震補強済みか
- 躯体のコンクリートの圧縮強度はいくらか


これらの調査の結果から、対象とする学校施設の構造躯体の健全性を評価し、長寿命化可能な施設か否か、条件の異なる個々の学校施設に対して最適な改修方法は何かなどを判断します。

なお、躯体が基準の圧縮強度に満たないコンクリートの建物については、他の学校施設と同様に耐震診断を行ったうえで耐震改修が施されているため緊急的な対策は必要ありませんが、長寿命化改良には適さないため改築の対象とすることとします。

2) 構造躯体以外の劣化状況等の評価





構造躯体以外の劣化状況の調査対象としては、屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5項目について、建物ごとにその劣化状況や経過年数について調査しました。5項目の劣化状況の評価を建物ごとに集計することにより、現時点での当該建物の構造躯体以外の健全度を示す指標とします。

屋根・屋上

評価	状 態
A	良好（汚れている、改修後10年以内） 
B	部分的にひび割れ、膨れ、剥がれ、錆、排水不良などがある 
C	広範囲にひび割れ、膨れ、剥がれ、錆、排水不良などがあり、最上階天井に漏水痕がある 
D	広範囲に幅広のひび割れ、下地露出、破断などがあり、最上階天井に複数の漏水痕がある 

【表 14】 構造躯体以外の評価基準の例（屋根・屋上）

外壁

評価	状 態	状 態
A	良好（汚れている、改修後 10 年以内）	
B	部分的にひび割れ、変質、浮き、はらみ、シーリング材のひびなどがある	
C	広範囲にひび割れ、変質、浮き、はらみ、シーリング材のひび、取付金具の錆などがあり、小規模な漏水がある	
D	広範囲に剥落、爆裂、幅広のひび割れ、ぐらつき、腐食、シーリング材の欠落などがあり、複数箇所から漏水がある	

【表 15】 構造躯体以外の評価基準の例（外壁）

3) 建物情報の一覧

構造躯体の健全性や躯体以外の劣化状況をまとめたものが【表 16 建物情報一覧表（校舎）】、【表 17 建物情報一覧表（体育館・武道場）】となります。

建物情報一覧表（校舎）

基準:2025年 ■:築50年以上 ■:築30年以上 ■:長寿命化実施済み

A:概ね良好 C:広範囲に劣化
B:部分的に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し 番号	建物基本情報							構造躯体				劣化状況評価							
	施設名	建物名	棟数 [棟]	延床面積 [㎡]	建築年度 [年]		築年数 [年]	基準	診断	補強	圧縮強度 [N/mm]	耐力度 [点]	調査年 [年]	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
					西暦	和暦													
1	母衣小学校	校舎	2	6,852	2004	H16	21	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	B	A	89
2	城北小学校	校舎	3	5,347	2009	H21	16	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
3	内中里小学校	校舎	3	6,241	1977	S52	48	旧	済	済	21	未実施	2025	B	C	C	C	D	35
4	中央小学校	校舎	3	5,301	1994	H6	31	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	C	B	B	54
5	雑賀小学校	校舎	7	4,819	1982	S57	43	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	B	C	D	46
6	津田小学校	校舎	9	6,501	1973	S48	52	旧	済	-	20.6	未実施	2025	A	B	B	C	D	55
7	古志原小学校	校舎	9	6,880	1976	S51	49	旧	済	済	18.8	未実施	2025	A	B	B	C	D	55
8	川津小学校	校舎	7	6,541	1978	S53	47	旧	済	済	19.8	未実施	2025	A	C	D	C	D	27
9	朝酌小学校	校舎	1	2,228	1987	S62	38	新	-	-	-	未実施	2025	C	D	C	B	B	47
10	法吉小学校	校舎	4	4,955	1979	S54	46	旧	済	-	20.6	未実施	2025	C	D	D	D	D	12
11	竹矢小学校	校舎	4	4,792	1974	S49	51	旧	済	済	21	未実施	2025	A	D	D	C	D	20
12	乃木小学校	校舎	10	7,851	1978	S53	47	旧	済	済	19.3	3,091	2025	A	C	C	C	D	36
13	忌部小学校	校舎	5	2,337	1978	S53	47	旧	済	-	14.5	未実施	2025	C	D	D	D	D	12
14	大庭小学校	校舎	6	6,803	1979	S54	46	旧	済	済	18.8	未実施	2025	C	C	C	C	D	32
15	生馬小学校	校舎	4	3,048	1970	S45	55	旧	済	済	18.3	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
16	持田小学校	校舎	2	3,505	1986	S61	39	新	-	-	-	未実施	2025	C	D	B	B	B	58
17	古江小学校	校舎	6	3,762	1972	S47	53	旧	済	済	23.6	未実施	2025	B	C	C	C	D	35
18	本庄小学校	校舎	1	2,962	2007	H19	18	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
19	大野小学校	校舎	2	1,712	1973	S48	52	旧	済	-	17.9	未実施	2025	C	C	C	C	D	32
20	秋鹿小学校	校舎	3	2,176	1979	S54	46	旧	済	-	20.6	未実施	2025	D	D	C	C	D	24
21	惠曇小学校	校舎	4	3,824	1978	S53	47	旧	済	-	25.7	未実施	2025	B	D	D	C	D	18
22	佐太小学校	校舎	4	3,396	1980	S55	45	旧	済	-	25.7	未実施	2025	B	D	C	C	D	28
23	鹿島東小学校	校舎	5	2,736	1974	S49	51	旧	済	-	21	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
24	島根小学校	校舎	3	3,276	1978	S53	47	旧	済	済	21	未実施	2025	B	D	B	C	D	39
25	美保岡小学校	校舎	1	4,682	2005	H17	20	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
26	八雲小学校	校舎	8	4,498	1964	S39	61	旧	済	済	11.9	未実施	2025	B	D	D	C	D	18
27	穴道中学校	校舎	8	4,983	1979	S54	46	旧	済	-	25.7	未実施	2025	A	A	A	C	D	69
28	来待小学校	校舎	5	2,928	1977	S52	48	旧	済	済	25.7	未実施	2025	C	B	A	C	D	60
29	出雲郷小学校	校舎	6	3,913	1979	S54	46	旧	済	済	20.6	未実施	2025	B	D	C	C	D	28
30	摘屋小学校	校舎	7	4,298	1970	S45	55	旧	済	済	17.8	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
31	意東小学校	校舎	3	2,627	1977	S52	48	旧	済	済	21.3	未実施	2025	B	C	B	C	D	46
小学校計			145	135,774															
1	第一中学校	校舎	7	8,181	1973	S48	52	旧	済	済	19.4	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
2	第二中学校	校舎	9	7,787	1984	S59	41	新	-	-	-	未実施	2025	B	D	D	C	D	18
3	第三中学校	校舎	7	6,718	1994	H6	31	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	C	B	B	54
4	第四中学校	校舎	4	8,929	1981	S56	44	旧	済	済	19.9	3,481	2025	D	D	C	C	D	24
5	湖南中学校	校舎	5	7,587	1974	S49	51	旧	済	済	16.6	未実施	2025	A	B	B	C	D	55
6	湖東中学校	校舎	3	7,034	1992	H4	33	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	C	B	B	56
7	本庄中学校	校舎	3	2,583	1980	S55	45	旧	済	-	25.7	未実施	2025	D	C	C	C	D	31
8	湖北中学校	校舎	5	5,038	1993	H5	32	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	C	C	B	51
9	鹿島中学校	校舎	4	5,974	2007	H19	18	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
10	島根中学校	校舎	2	3,877	2003	H15	22	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	A	A	85
11	美保岡中学校	校舎	2	5,619	1994	H6	31	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	C	B	B	67
12	八雲中学校	校舎	2	3,991	1988	S63	37	新	-	-	-	未実施	2025	C	D	B	B	B	58
13	穴道中学校	校舎	4	4,803	2012	H24	13	新	-	-	-	未実施	2025	A	B	A	A	A	94
14	東出雲中学校	校舎	5	7,320	2011	H23	14	新	-	-	-	未実施	2025	A	B	A	A	A	94
中学校計			62	85,441															
1	八束学園 (前期課程)	校舎	1	2,804	2010	H22	15	新	-	-	-	未実施	2025	B	A	A	A	A	98
2	八束学園 (後期課程)	校舎	1	2,318	2010	H22	15	新	-	-	-	未実施	2025	B	A	A	A	A	98
3	玉湯学園 (前期課程)	校舎	6	6,356	2020	R2	5	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
4	玉湯学園 (後期課程)	校舎	5	4,388	1989	H元	36	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	C	B	B	54
義務教育学校計			13	15,866															
1	皆美が丘女子高等学校	校舎	6	5,028	1966	S41	59	旧	済	済	12.5	未実施	2025	A	B	D	C	D	34
高等学校計			6	5,028															
合計			226	242,109															

※1 表内のデータのうち「建築年度」は各学校のなかで最も古い棟であり、「劣化状況評価」は最も評価の低い棟の評価を記載している。延床面積は各学校の校舎のすべての棟を合計したものである。

※2 棟数はエキスパンションジョイント等の構造体の区切りがある場合、別棟とする。

【表 16】 建物情報一覧表（校舎）

建物情報一覧表（体育館・武道場）

基準:2025年 ■:築50年以上 ■:築30年以上 ■:長寿命化実施済み

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報							構造躯体				劣化状況評価								
通し 番号	施設名	建物名	棟数 [年]	延床面積 [㎡]		築年数 [年]	基準	診断	補強	圧縮強度 [N/㎡]	耐力度 [点]	調査年 [年]	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)	
				西暦	和暦														
1	母衣小学校	体育館	2	1,401	2004	H16	21	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
2	城北小学校	体育館	1	1,214	2010	H22	15	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
3	内中原小学校	体育館	4	1,343	1998	H10	27	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
4	中央小学校	体育館	2	1,135	1994	H6	31	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
5	雑賀小学校	体育館	1	801	1980	S55	45	旧	済	済	20.6	未実施	2025	B	B	A	C	D	62
6	津田小学校	体育館	1	1,379	2011	H23	14	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
7	古志小学校	体育館	1	1,101	1976	S51	49	旧	済	済	25.8	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
8	川津小学校	体育館	1	863	1978	S53	47	旧	済	済	20.6	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
9	朝酌小学校	体育館	1	814	1987	S62	38	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	B	B	B	67
10	法吉小学校	体育館	1	859	1980	S55	45	旧	済	-	20.6	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
11	竹矢小学校	体育館	1	810	1975	S50	50	旧	済	済	21	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
12	乃木小学校	第1体育館	1	806	1968	S43	57	旧	済	済	20.5	4,313	2025	B	C	C	C	D	35
13	乃木小学校	第2体育館	2	674	1991	H3	34	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
14	忌部小学校	体育館	1	539	1978	S53	47	旧	済	済	20.6	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
15	大庭小学校	体育館	1	1,049	1988	S63	37	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
16	生馬小学校	体育館	3	1,164	1996	H8	29	新	-	-	-	未実施	2025	D	B	D	B	B	50
17	持田小学校	体育館	2	919	1987	S62	38	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	C	B	B	54
18	古江小学校	体育館	1	680	1980	S55	45	旧	済	済	20.6	未実施	2025	B	C	C	C	D	35
19	本庄小学校	体育館	1	894	2008	H20	17	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	C	A	A	66
20	大野小学校	体育館	1	503	1974	S49	51	旧	済	済	15	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
21	秋鹿小学校	体育館	1	539	1979	S54	46	旧	済	済	20.6	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
22	惠曇小学校	体育館	1	1,125	1978	S53	47	旧	済	済	25.7	未実施	2025	C	C	C	C	D	32
23	佐太小学校	体育館	2	1,208	1979	S54	46	旧	済	済	25.7	未実施	2025	B	D	C	C	D	28
24	鹿島小学校	体育館	1	1,145	2007	H19	18	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	B	B	B	65
25	島根小学校	体育館	1	1,094	2007	H19	18	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
26	八雲小学校	体育館	1	1,402	2003	H15	22	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	A	A	85
27	穴通小学校	体育館	1	1,293	1979	S54	46	旧	済	済	20.6	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
28	来待小学校	体育館	1	1,133	1978	S53	47	旧	済	済	14.1	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
29	出雲郷小学校	体育館	1	1,010	1991	H3	34	新	-	-	-	未実施	2025	C	B	B	B	B	73
30	撰履小学校	体育館	1	864	1972	S47	53	旧	済	済	17.6	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
31	意東小学校	体育館	1	941	2007	H19	18	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	A	A	85
小学校計			41	30,702															
1	第一中学校	第1体育館	2	1,150	1973	S48	52	旧	済	済	16.6	未実施	2025	B	B	A	C	D	62
2	第一中学校	第2体育館	3	1,970	1997	H9	28	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
3	第二中学校	体育館	4	1,866	1985	S60	40	新	-	-	-	未実施	2025	C	B	C	B	B	62
4	第三中学校	体育館	2	965	1989	H元	36	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	B	B	75
5	第四中学校	体育館	5	1,939	1981	S56	44	旧	済	済	25.7	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
6	湖南中学校	体育館	2	1,122	1974	S49	51	旧	済	済	20.4	未実施	2025	B	B	C	C	D	43
7	湖南中学校	武道場	1	350	2008	H20	17	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	A	A	85
8	湖東中学校	体育館	5	2,383	1992	H4	33	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	B	B	B	67
9	本庄中学校	体育館	1	776	1982	S57	43	新	-	-	-	未実施	2025	D	C	C	C	D	31
10	湖北中学校	体育館	4	2,233	1993	H5	32	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	B	B	B	67
11	鹿島中学校	体育館	1	1,660	2009	H21	16	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	A	A	A	93
12	島根中学校	体育館	2	1,823	2005	H17	20	新	-	-	-	未実施	2025	B	B	B	A	A	85
13	美保園中学校	体育館	4	2,705	1994	H6	31	新	-	-	-	未実施	2025	C	C	B	B	B	65
14	八雲中学校	体育館	1	1,143	1979	S54	46	旧	済	済	20.6	未実施	2025	C	B	C	C	D	40
15	穴通中学校	体育館	3	1,576	2013	H25	12	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
16	東出雲中学校	体育館	1	2,731	2010	H22	15	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	B	A	97
中学校計			41	26,392															
1	八束学園（前期課程）	体育館	2	1,104	2005	H17	20	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	A	A	A	85
2	八束学園（後期課程）	体育館	2	1,433	2003	H15	22	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	B	A	A	77
3	玉湯学園（前期課程）	体育館	1	1,420	2020	R2	5	新	-	-	-	未実施	2025	A	A	A	A	A	100
4	玉湯学園（後期課程）	体育館	3	1,607	1991	H3	34	新	-	-	-	未実施	2025	B	C	C	B	B	56
義務教育学校計			8	5,564															
1	皆美が丘女子高等学校	体育館	1	1,103	1967	S42	58	旧	済	済	17.6	未実施	2025	A	B	A	C	D	64
2	皆美が丘女子高等学校	武道場	2	809	1991	H3	34	新	-	-	-	未実施	2025	A	D	B	B	B	62
高等学校計			3	1,912															
合計			93	64,570															

※1 表内のデータのうち「建築年度」は各学校のなかで最も古い棟であり、「劣化状況評価」は最も評価の低い棟の評価を記載している。延床面積は各学校の校舎のすべての棟を合計したものである。

※2 棟数はエキスパンションジョイント等の構造体の区切りがある場合、別棟とする。

【表 17】 建物情報一覧表（体育館・武道場）

本計画の対象となる学校施設の対象建物の合計 319 棟のうち校舎計 226 棟、体育館・武道場計 93 棟であり、延べ床面積計約 30.7 万㎡のうち校舎計約 24.2 万㎡、体育館・武道場計約 6.5 万㎡である。

4) 計画策定した令和2年度から令和7年度までの実績と今後の見込み



【図15】玉湯学園（統合）

工事概要

工事：R1~R2年度

開校：R3年度

新築棟情報

校舎：木造(一部鉄筋コンクリート造及び鉄骨造)

3階建て(一部2階)

延床面積 6,356㎡

体育館：鉄筋コンクリート造
(一部木造及び鉄骨造)

2階建て

延床面積 1,420㎡



【図16】揖屋小学校（長寿命化）

工事概要

工事：R5~R7年度

改修及び増築棟情報

校舎：鉄筋コンクリート造
3階建て(一部2階)

増築棟：鉄骨造

3階建て(一部1階)

延床面積 4,298㎡

体育館：鉄骨造

2階建て

延床面積 864㎡



【図17】(仮称)湖北学園パーク（統合）

工事概要

工事：R9~R10年度（予定）

開校：R11年度（予定）

新築棟情報（基本設計段階）

校舎：鉄筋コンクリート造
3階建て(一部1階)

延床面積 3,701㎡

体育館：鉄筋コンクリート造
2階建て

延床面積 849㎡

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

松江市においても全国的な傾向と同様に少子化が進行しており、小・中・義務教育学校・高等学校の児童・生徒数は減少傾向にあります。また、これに加えて地域間での人口の偏在もあって、学校間の規模の格差は拡大してきています。

このため、学校施設の規模や配置についてもこの傾向を前提とした方針を定める必要があります。

「松江市公共施設適正化計画（令和8年3月改訂）」では、学校施設について、“適正化に向けた基本方針”で、適正化の5原則に則り、以下の内容を改善の方向性としています。

「適正化5原則」

1. 新規整備は行わない
2. 現在保有している施設のスリム化
3. 安全で魅力のある施設の提供
4. 施設を利用しない市民への配慮
5. 未利用財産の売却推進

【図18】 松江市公共施設適正化計画
適正化5原則

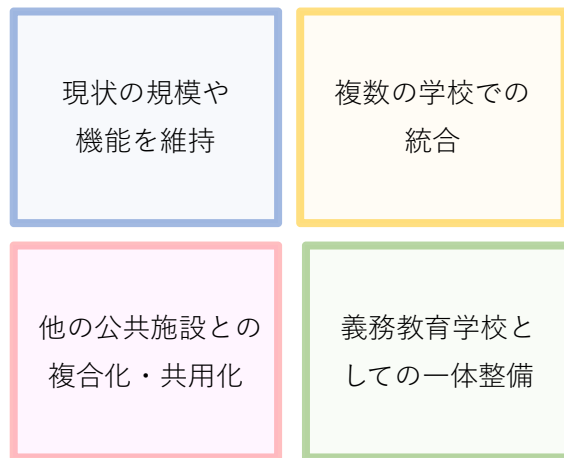
学校	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 学校施設の老朽化に対しては、良好な教育環境の整備に向けて、計画的に長寿命化を図っていく。 ➤ 年少人口の減少に伴い、地域によっては複式学級になるなど極小規模の学校が増えることが予想される。 ➤ 適切な教育環境の実現を図ることを前提に、児童・生徒数の状況と施設の老朽化の度合いを見ながら、小中一貫校化の推進も念頭に置いた統廃合も検討していく。
----	--

「松江市公共施設適正化計画（令和8年3月改訂）」より

【表18】 学校施設の改善の方向性

松江市教育委員会では、文部科学省が作成した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き～少子化に対応した活力ある学校づくりに向けて～（平成27（2015）年1月）」を参考にしながら、平成29（2017）年11月に「松江市立小学校・中学校の適正規模・適正配置等（適正化）について」を策定し、学校施設の適正化に関する方針を定めました。このなかでは、小中学校には一定の規模が必要であるとする一方で、地域のまちづくりやコミュニティー維持の観点からも重要な施設であると位置づけています。また、「松江市都市マスタープラン（平成30（2018）年改定）」においても各学校周辺500mを生活維持の中核として位置付けており、学校施設が地域の中核施設の役割を担うことの想定も必要となります。

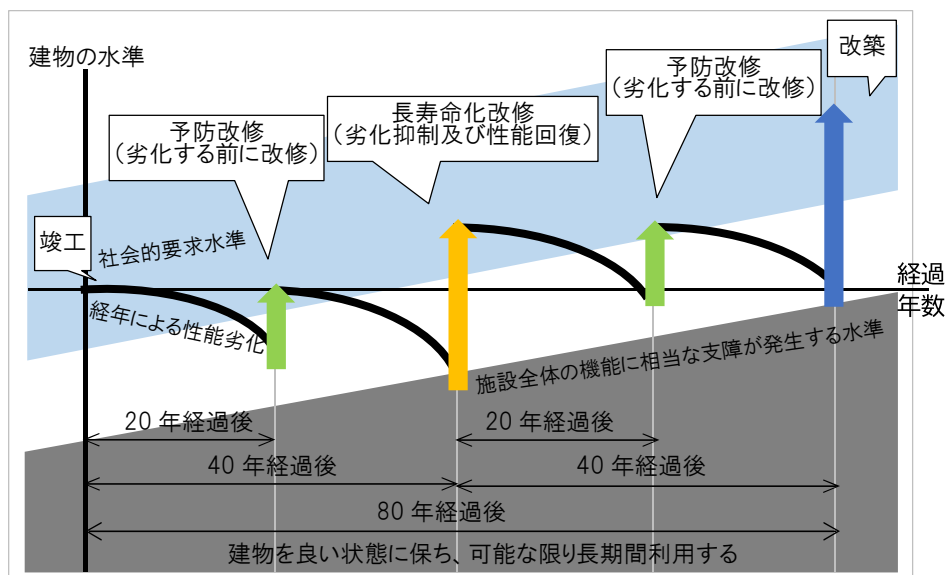
学校施設の規模・配置計画等については、この適正化の方針の下、以下の4つの類型を基本に、児童・生徒の生きる力の育成、地域コミュニティーの中での学校の役割も含めて学校施設が最も効果的にその機能を発揮、展開できるよう検討を進めます。



【図 19】 学校施設の規模・配置計画等の 4 つの類型

② 学校施設整備の基本的な方針の転換

これまで学校施設は建設後 50～60 年での改築を前提とし、建物の劣化が進んだ段階で大規模な改修を行う方針としてきました。改修にあたっては外観の改修や最低限の機能修繕、設備機器の更新などを対象とし、建物本体の寿命を左右する躯体については改修の対象としていませんでした。しかし、多くの学校施設が同時期に改築の時期を迎えるなか、今後は、安定的に施設を維持していくために経年による改築を前提とせず、劣化が進む前に定期的に長寿命化改良を施し、施設をより長く健全な状態に保つことを可能とする整備の方針に転換する必要があります。



【図 20】 長寿命化改良を取り入れた整備【R5 年度以降】

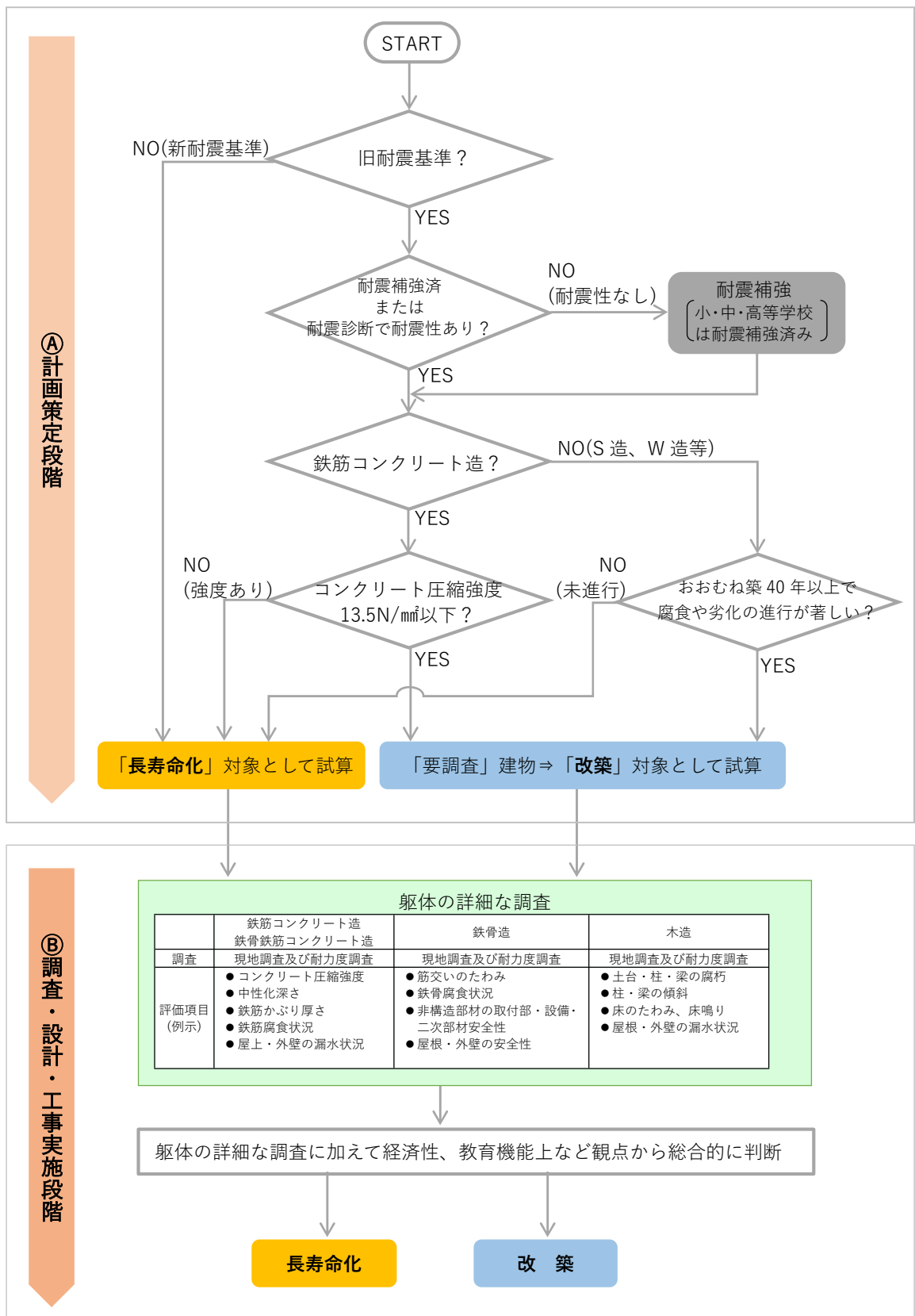
このため、対象となる学校施設の現在の性能等を調査し、改修によって使い続けることが可能であれば、一定の年月が経過した時点で躯体の改修を伴う「長寿命化改良」を実施し、建物本体を良い状態に保ったうえで可能な限り長期間利用することとします。

長寿命化改良は、躯体を含めて建物一棟全体（内部・外部共）を全面的に改修する「長寿命化改修」と、竣工から長寿命化改修までの間、又は長寿命化改修から改築までの間に劣化予防や機能保全を目的として行う「予防改修」の二種類の事業を行うものとし、各学校の建築年度や老朽度、健全度等を考慮して、このうち最適なものを実施して建物の長寿命化を図るとともに時代に即した性能を確保することとします。

長寿命化改良	
① 長寿命化改修	
対象とする建物	工事の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 築 40 年以上 ・ 今後 30 年以上使用する ・ 構造調査の結果から長期的な使用が妥当と判断 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 躯体の改修は必須 ・ 耐久性能、省エネ性能、メンテナンス性能の向上 ・ 多様な活動が可能な環境整備 ・ その他建物一棟全体を長寿命化改良する全面的な改修
② 予防改修	
対象とする建物	工事の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 築 20 年以上 40 年未満 ・ 長寿命化改修後 20 年以上 ・ 長寿命化計画（個別計画）に基づく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 屋上防水層の改修 ・ 躯体の長寿命化のための外壁改修 ・ 躯体の部分補修、ライフラインの更新 など

【表 19】 長寿命化改良の種類

また、長寿命化改良の調査・設計にあたっては、対象となる学校施設の使用状況や老朽化の状況、将来の地域の状況などを勘案したうえで、場合によっては減築や他の公共施設への転用などについて検討も必要となります。



※ ①の耐震診断、耐震補強、コンクリート圧縮強度試験はH29年度までに実施済み。

②の耐力度調査はR7年度までに乃木小、四中のみ実施済み。

【図 21】 長寿命化または改築の判定フロー

以上のことを踏まえ、松江市では学校施設の改修等の基本的な方針を以下のとおり定めます。

基本方針① 「改築」から「長寿命化改良」へ

▶構造体の耐用年数を踏まえつつ、長寿命化改良を行うことにより建物を良い状態に保ち、可能な限り長期間にわたり利用することとします。

基本方針② 「劣化が進んだ段階で改修（大規模改修）」から 「劣化する前に改修（予防改修）」へ

▶改築から長寿命化改修までの間、又は長寿命化改修から改築までの間に予防改修を行い、建物が本来持つべき機能を途切らせることなく維持します。

基本方針③ 機能・性能の最適化

▶建物の性能劣化に反して上がっていく社会的な要求水準に対し、長寿命化改良を行い建物の水準を高めることにより、対応していきます。

基本方針④ 規模・立地の適正化

▶将来を見据え、学校施設の規模や立地について適正化を図り、施設の統合や機能の集約、建物の減築を検討します。

【図 22】 改修等の基本的な方針

なお、長寿命化改良のうち特に長寿命化改修では工事期間が長期となることから、仮設校舎や児童・生徒の校地内での動線の変更が必要となる場合があります。このことにより施工計画が大きく制限されることが考えられます。また改修工事の内容を決定するためには、個別の建物の詳細な調査が必要であり、その結果として改修計画や場合によっては改修・改築の方針の大きな見直しが必要になることも考えられます。

このため、基本計画段階から工事着手までは時間的な余裕を確保し、十分な調査を実施したうえで綿密な工事計画を立てることとします。

(5) 基本的な方針を踏まえた施設整備の水準等

① 改修等の整備水準

松江市では、学校施設の建築年度の違いや合併前の自治体ごとの考え方の違いから、学校によって施設水準に若干の差異が見受けられます。このことにより、こどもたちの教育環境の差異や施設管理の煩雑さが生じることがないように、施設改修は「義務教育施設の長寿命化改修及び予防改修における整備基準」に基づき、学校施設の整備水準の平準化を目指します。

なお、この整備基準については、社会情勢などの変化に応じて適宜見直しを行い、こどもたちに対して時代に適応した教育環境を提供するとともに、施設改修を進めることによって得られた知見や実績をもとに逐次見直すことで、より費用対効果の高い整備を進めます。

② 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図るためには、日常的・定期的な施設の維持管理が重要となります。

学校においての清掃・点検、教育委員会においての点検・学校巡回などにより、施設・設備状況の把握、計画的な修繕・更新を行い、児童生徒の安全確保と学校施設・設備の長寿命化を図っていくこととします。

担当	項目	実施内容	実施時期	備考
学校	日常点検	施設・設備全般の点検	毎日	職員による日常点検
	安全点検	児童生徒が使用する、施設・設備の一斉点検	每学期1回以上(月1回)	学校保健安全法に基づく定期点検
	遊具点検	遊具の腐食や異常の有無についての点検	毎月	点検シートを教育委員会へ報告
教育委員会	特定建築物定期点検	敷地、建築物の外部・屋上・内部、避難施設及び設備の、損傷・劣化状況等の点検	3年に1回	建築基準法に基づき、業者による点検
	受変電設備	受変電設備全般の点検及び電圧の測定・確認等	毎月	電気事業法に基づき、電気主任技術者を選任
	消防用設備	消火器具、消火栓、避難器具、誘導灯等の点検	年2回	消防法に基づき、業者による点検
	防火設備	防火シャッター・防火扉・防火スクリーン等の点検	年1回	建築基準法に基づき、業者による点検
	エレベータ	かご室・调速機等の劣化状況、動作の確認 遠隔監視による動作確認	3月～1年に1回	建築基準法に基づき、業者による点検
			24時間	
	空調設備(GHP)	フロンガス漏洩点検(7.5kw以上の機器)	3年に1回	フロン排出抑制法に基づき、業者による点検
		オイル交換	5年に1回	業者により実施
	貯水槽	清掃にあわせて、貯水槽本体や水槽周囲及び水槽設備の点検	年1回	学校安全保健法(学校環境衛生基準)に基づき、業者による点検
	浄化槽	浄化槽本体・設備の破損状況等の点検	種類等により1回/2週間～1回/6ヶ月	浄化槽法に基づき、業者による点検
プール浄化装置	ろ過機・循環ポンプの点検	年2回	学校安全保健法(学校環境衛生基準)に基づき、業者による点検	

【表20】 日常的・定期的な点検項目

(6) 長寿命化改良の実施計画

① 長寿命化改良の優先順位付けの考え方

1. 長寿命化改修の優先順位付けの考え方

築 40 年以上の学校施設については、長寿命化改修の対象施設とし、以下のとおり優先順位を決定します。

基本 順序	<p>(1) 築年度の古い建物を優先させることを基本とする。</p> <p>☞ 一つの学校に複数の建物がある場合は、築年度の差が 10 年程度であれば同時に整備を行い、最も古い建物の築年度をもとにした優先順位とする。</p>
	<p>(2) 建物の劣化状況を優先順位に反映させる。</p> <p>☞ 建物の寿命に影響する劣化状況（ひび割れ、漏水、さびなど）を築年度による判断を補完するものとして反映させる。</p>
	<p>(3) 大規模改修、防音改修実施済みの建物は、改修後一定期間は長寿命化改良を保留する。</p> <p>☞ 大規模改修等を実施した建物は、改修後 20 年間は長寿命化改良を保留する。</p>
調整 順序	<p>(4) 従前の整備計画との整合を図る。</p> <p>☞ 従前の計画により地元等に改修を周知するなどして、準備を進めているものは優先させる。</p>
	<p>(5) 事業費の平準化や事業計画の難易度等により事業順序を調整する。</p> <p>☞ 事業費の多い学校の改修期間が重ならないよう配慮する。また、小規模な改修であれば 2 校同時の着手も検討する。</p> <p>☞ 学校によって施工条件や仮設計画、児童・生徒の安全確保などの条件が大きく異なるため、事業の順序や時期を調整する。</p>

【表 21】 長寿命化改修の優先順位の考え方

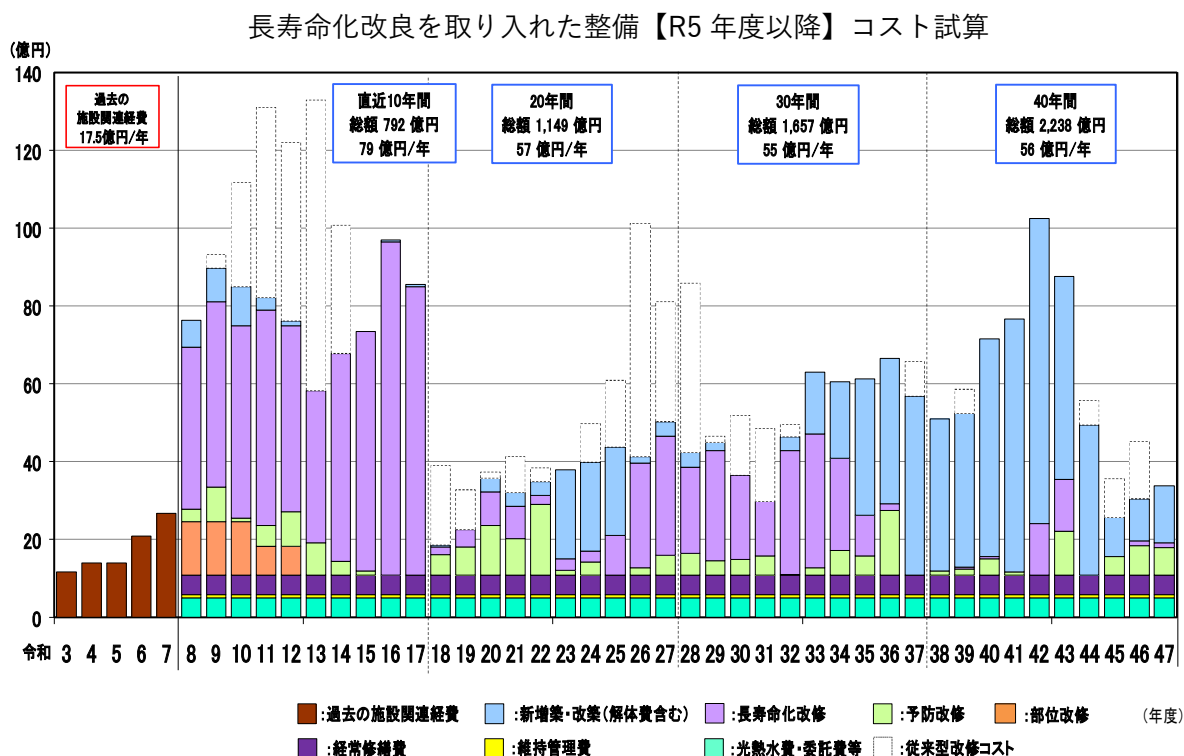
2. 予防改修の考え方

築 20 年以上 40 年未満の学校施設及び長寿命化改修を実施した学校施設については予防改修の対象とします。

改修順序の決定にあたっては、築年度順とすることを基本としつつ、同一校の他の棟で長寿命化改修や局所的な改修・修繕などを実施する計画があれば、これと同時に実施することによる仮設費や管理費の縮減効果等を勘案し、総合的に判断することとします。

学校施設の老朽化対策は、時期の差こそあれ、すべての施設に対して実施しなければならないものです。現在の厳しい財政状況においては一度に改修に着手できる学校数や施設規模は限られますが、毎年一定規模の改修に着手できるよう、恒常的かつ計画的な予算の確保に努めます。

② 長寿命化改良を取り入れた整備コストの見通し・効果



【図 23】 長寿命化改良を取り入れた整備【R5年度以降】コスト試算

20年周期で予防改修を行い、40年で長寿命化改修を実施すると今後40年間の松江市の学校施設で見込まれるコストは、2,238億円となります。これは、おおむね50年～60年で建替える従来型の維持・更新コスト2,436億円に比べ、総額198億円(約8%相当)の低減となります。

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づく試算

松江市では学校施設の長寿命化を図ることにより、維持・更新コストの総額が縮減されます。改修費用の平準化と長期的な見通しを明らかにしながら、継続的かつ計画的な整備に取り組んでいきます。

(7) 長寿命化計画の継続的運用方針

① 情報基盤の整備と活用

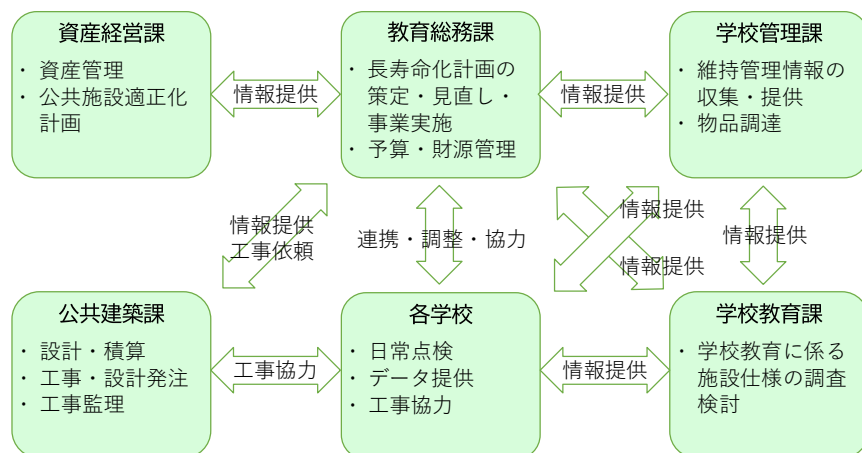
効率的かつ効果的な施設整備を進めていくためには、①施設の点検・評価によって現状を的確に把握したうえでそれを踏まえた計画を策定し（Plan）、②計画に基づき、適切な改修や日常的な維持管理等を実施し（Do）、③整備による効果の検証を継続的に行うとともに、より効果的な整備手法など改善すべき点について課題を整理し（Check）、④次期計画に反映していく（Action）、というPDCAサイクル（メンテナンスサイクル）を確立することが重要となります。

現在においても「公立学校施設台帳」に一定の施設管理情報が蓄積されているため、これらの情報を活用するほか、躯体その他の改修、維持修繕、機器の交換、事故・故障の発生履歴等や12条点検等の法定点検の結果をデータベースに蓄積するとともに関係課で共有を図り、今後の維持管理業務や施設整備業務の実施・改善に活用します。

② 推進体制等の整備

学校施設の長寿命化計画を継続的に運用していくためには、学校施設の実態把握、コストの算出、財源の確保、学校教育の実態や方針の把握のほかに、一定の技術的知見が必要であるため、公共建築課と教育委員会との連携を図りながら改修等を進めています。

しかし、今後学校施設の老朽化が一様に進むなか、改修事業のボリュームは現在より増加することは確実となっています。将来の事業量を見定め、事業量に見合った教育施設担当の建築技術者を確保するとともに、教育委員会への建築技術者配置も検討します。



【図 24】 長寿命化計画推進体制のイメージ

③ フォローアップ

本計画は現時点における今後 40 年間の維持管理コスト情報をもとに作成しています。よって今後の学校施設の適正規模・適正配置等の進捗や必要とされる施設水準の変化、それぞれの学校施設の老朽化や計画した改修事業の進み具合などによって見直すことが必要となります。

本計画は、5 年を目安に進捗状況や学校施設の老朽化に関する点検・評価等を行い、これを踏まえたうえで見直すものとします。

松江市小学校・中学校・義務教育学校・高等学校施設長寿命化計画

令和3年3月

(令和8年3月 改定)

松江市教育委員会 教育総務課